

## 参観日、ご来校ありがとうございました。

4月21日(日)の参観日には、たくさんの保護者の皆様に来ていただきまして、ありがとうございました。近隣の小学校の先生方にも参観いただき、成長した生徒の姿を見ていただくことができましたと思います。



## 令和7年度 制服が新しくなります。



先日の参観日の PTA 総会でもお伝えをさせていただきましたが、令和7年度より、拓心中学校の制服が新しくなります。

現在の中学1年生以上は、変更はありません。現在の6年生から、新しい制服がスタートします。あわせて令和7年度からは、ジャージも新しくなります。お知りおきください。

## スクールバス利用時のマナーについて



25日(金)に行われた生徒総会で、生徒会本部役員から呼びかけがありましたが、「スクールバス利用のマナーについて」お知らせです。バス会社からも、「危ない!」と思った瞬間があったなど、情報をいただいています。バス会社も生徒の皆さんの命を守るために、車内でも呼びかけています。マナーを守って乗るのは、自分の命や友達の命を大切に守るためでもあります。 ご家庭でも、今一度、登下校時の安全についてお話しください。

### <↓生徒総会の様子↓>



### <5月予定>

行事予定は学校HPの「スクールカレンダー」で確認できます。学校新しいHPのQR⇒  
<https://takushin-jhs.edumap.jp/>



1	水		16	木	1年宿泊研修②
2	木		17	金	
3	金	憲法記念日	18	土	
4	土	みどりの日	19	日	
5	日	こどもの日	20	月	
6	月	振替休日	21	火	3年修学旅行①
7	火	二者面談	22	水	3年修学旅行②
8	水	二者面談	23	木	3年修学旅行③
9	木	学校運営協議会	24	金	3年修学旅行④
10	金	二者面談	25	土	
11	土		26	日	
12	日		27	月	教育実習開始(~6/14)
13	月	二者面談	28	火	スクールカレラ来校日
14	火	内科検診 職員会議	29	水	
15	水	1年宿泊研修① 二者面談	30	木	避難訓練
			31	金	

## 令和6年度全国学力学習状況調査 結果概要と改善策

標記調査を4月18日(木)に実施(中3対象)しました。その結果をもとに、本校生徒の学力学習状況の成果と課題について分析しましたのでお知らせします。

この結果を踏まえて、学校全体でさらなる学力向上に向けた取組を推進して行きたいと考えていますので、ご理解・ご協力の程、よろしく申し上げます。

	成果が見られる主な設問	課題が見られる主な設問
国語	<b>A 資料を用いて、自分の考えがわかりやすく伝えるように話す。</b> <話すこと:思考・判断・表現> <b>B 文の成分の順序や照応について理解している。</b> <言葉の特徴や使い方:知識・技能>	<b>C 文章と図を結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈する。</b> <読むこと:思考・判断・表現> <b>D 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。</b> <書くこと:思考・判断・表現>
	極端に正答率が高い問題や、極端に低い問題解答はないので、ある程度の読み取り能力や、記述能力は身に付いていると考えます。成果が見られた A については、同様な設問においても無回答率も低く、苦手意識なく取り組むことができました。B においても漢字の書き取りなど、基礎的な内容については理解度が高いので、古語の表現など発展的な内容にも理解を広げていけるように取り組みます。 課題が見られる C、Dについては、文章と図から複数の情報を読み取る力が必要となり、一つの解答を導き、他に当てはまるものがないかなど注意深く考えを巡らせることができるように、改善に向けて授業でも取り扱っていきます。 また授業の中では、文章の内容を読み解くことにたいして、難易度を調整しながら、苦手意識の克服にも徐々に取り組みます。ご家庭でも読み物に触れる機会を大事にして、感想などをお子さんに聞くことなど大切にいただければと思います。	

	成果が見られる主な設問	課題が見られる主な設問
数学	<b>A 問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法計算ができる。</b> <数と式:知識・技能> <b>B グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができる。</b> <関数:思考・判断・表現>	<b>C 連続した二つの整数を、文字を用いた式で表すことができる。</b> <数と式:知識・技能> <b>D 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する。</b> <関数:思考・判断・表現> <b>E 筋道を立てて考え、証明することができる。</b> <図形:思考・判断・表現>
	成果が見られた A、B については、他の設問でも正答率が高く、力が身に付いていることが確認できました。C～E の課題が見られる設問では、苦手意識がはっきりとあらわれており、今後授業の中で、重点として繰り返し指導する必要が見られました。苦手意識のパターンでは、 ・設問をしっかりと読み、内容を理解した上で解答するもの。 ・問われていることを数と式で表したり、問題解決の方法を数学的に説明したりするもの。 ・三角形の合同など、筋道を立てて証明するもの。 上記、いずれも「筋道を立てて考える(論理的思考)」ことが求められており、解答にたどり着くために、数学的な解釈を式や記号を用いて表すことが必要となります。この一連の流れに、苦手意識が高くあらわれているので、授業の中でも、生徒自ら説明を考える時間を確保し、一人ひとりの理解促進を図ることとします。ご家庭では、お子さんに自分の思いや考えを話せる場を作ったり、保護者自ら、自分の行動の理由をお子さんに話して見せたりなど、様々な機会を大切にいただければと思います。	

<全体を通して>

【学校での採点結果による各教科の総合正答率】	
<b>国語 62.5%</b>	<b>数学 58.8%</b>


昨年の全国学力学習状況調査に引き続き、問題の内容を読み解き、解答にたどり着くことや、筋道を立てて考えたことを書き表すことに苦手意識があることがわかりました。この結果概要を受けて、学校の取組、個人の取組、家庭の協力など重点を決めて1年間取り組んでいきたいと考えております。

- ・ 学校の取組 ⇒ 授業改善を行い、論理的思考を高める場面を設定します。
- ・ 個人の取組 ⇒ 自身の目標の実現に向けて、計画的に学習を進めることができるよう、進路学習を充実させていきます。
- ・ 家庭の協力 ⇒ 学力向上の協力だけでなく、メディアから離れる時間を家庭でも設定いただき、その時間をお子さんの目標実現に役立てていただきたいと思います。

(例) 解答の選択肢

➡

(例) A4版2枚分の問題



1つの選択問題を解くのに、A4版2枚分の文章を読み解く問題が出題されています。